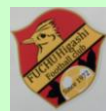


平成29年10月20日

風は東から



To be continued...

選手権二次T VS 日野台 勝利 !!
国学院久我山にも真っ向勝負で挑む !!

雨中の闘いを制し、ライバル日野台高校に 3-0 勝利 !!

次戦は、サッカーエリート軍団の国学院久我山高校に挑む !!

10月15日(日)、朝からあいにくの雨が降る中、待ちに待った選手権二次トーナメント初戦 VS 日野台高校が、堀越学園高尾グラウンドで行われました。秋雨前線の影響で、金曜日から雨が降り続け、「さすがに人工芝のグラウンドでも水溜りができているのでは？」と心配しましたが、今年七月にリニューアルされた堀越のグラウンドは、全く雨の影響はなし。ボールはしっかり走り(転がり)ました。本当に、緑の生える素晴らしい人工芝のグラウンドで、バックスタンド後ろの木々の風景が、一層、ヨーロッパ風のクラブハウスを髣髴させるようでした。

さて、東高サッカー部は、選手権二次トーナメントに進出しながらも、この二年間は力及ばずに初戦敗退。しかし、今年度は日程が一か月先送りになったこともあり、二次Tに向けてのTR&TRMなどしっかり時間をかけていい準備を行うことができ、子どもたちはワンアップ成長しました。特に、メンバーだけではなく、最上級生の三年生全体が心身ともに逞しさが増したのを、スタッフ一同実感しています。本当に、子どもたちの成長には、いつも驚かされるばかりです。

周知の通り、二次T初戦は、格上のライバル日野台高校に、立ち上がりこそは一進一退の展開でありましたが、前半10分を過ぎたあたりから、東高のペースでゲームは進みます。決定的なチャンスは何度か作りますが、日野台高校の集中した守備陣から、なかなかゴールは奪えません。しかし、前半25分にDFラインの裏を突き待望の先制点が生まれました。後半に入っても東高の流れでゲームは進みます。後半15分と25分のいい時間帯に追加点を奪い、メンバー交代で流れを引き寄せたい日野台高校を突き離します。この日は、ピッチ上の子どもたちが自分たちで、終始ゲームの流れをコントロールして闘っていました。また、球際やコンタクト、ヘディングの競り合いでアドバンテージを取れたので、結果的に東高のペースでゲームが進みました。強豪校である日野台高校に3-0での勝利は、東高サッカー部にとって大きな前進であり、新たなページの始まりです。



選手権 日野台戦



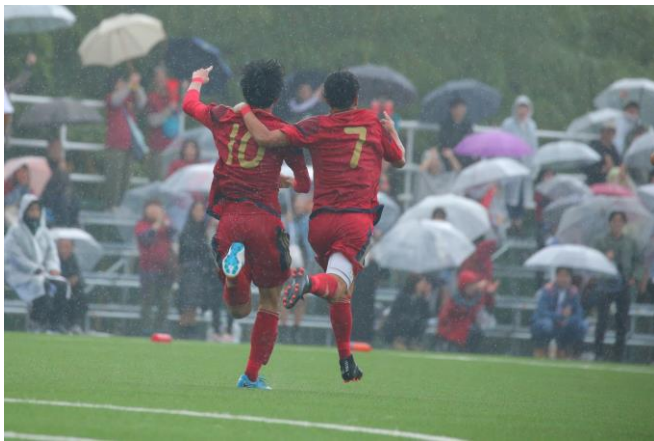
国学院久我山高校という高く険しい山に登る!!

選手権の組み合わせ抽選会から分かっていた事実。日野台高校に勝てば国学院久我山と闘える。しかも、選手権という大一番で真剣勝負ができるのですから、高校サッカー選手冥利に尽きます!!

国学院久我山高校といえば、「美しく勝て」というチームスローガンのもと、東京一の技巧派軍団として有名であり、全国大会に**7回出場**し、一昨年の選手権では決勝で**東福岡高校**に敗れたものの見事**準優勝**に輝いています。その時の一年生メンバーが今年は最上級生。GK平田、CB上加世田、MF川野、山口という選手権経験者をはじめ、その他にも有名クラブチーム出身者や国体代表選手もいます。今年のT1リーグでは、勝ち点差僅かに及ばず準優勝で終わっています。

さて、国学院久我山高校相手にどのように闘うか…?

この期に及んで、強豪校相手に秘策を考えてみたり、守備重視になって引いて闘うより、この三年間チームで積み上げてきた「**東高サッカーStyle**」を明日は貫き通すしかありません!!



<After the Game>

先週末から日本列島には秋雨前線が停滞し、その影響からか東京でも昨日にはこの時期にしては**60年ぶり**の寒さを観測しました。そして、先日には**台風21号**が発生し、暫くは雨の日が続くそうです。水捌けのいい東高グラウンドも、さすがに大きな水溜りが所々できています。

さて、日野台高校戦直前には、以前から親交のある**桜美林高校**にお世話になり、人工芝のグラウンドを使用して調整しました。大会直前の二日間、雨の中の人工芝のグラウンドで**TR**ができたことは、今回の勝利の最大の要因です。本当に、吉田先生には、感謝感謝感謝です!!

そして、今週は中間考査のため、試験終了後に稲城市の長峰グラウンドに移動して雨の中**TR**を行い、**国学院久我山戦**に向けて準備をしてきました。東高サッカー部史上、最大の難敵である久我山との闘いとなりますが、やれることは全てやってきました。明日は、選手権という大舞台上、全国区である国学院久我山と真剣勝負の場で闘える喜びを噛みしめながら、勝利を目指して全力で闘います。明日も熱い応援よろしくお願いします!!